

図書館だより

第39号 平成18年12月18日
高松工業高等専門学校図書館
TEL (087) 869-3813
FAX (087) 869-3948

平成18年度千ページ読破記入賞者

佳作 ハリー・ポッター～ハーマイオニーと自分～ 3年E組 山本 瑛（やまもとはじめ）
佳作 ハリー・ポッターと自分 3年M組 熊野 智之（くまのともゆき）
佳作 五千ページ読破記 4年S組 薬師 亮祐（やくしりょうすけ）
応募数 216編

1000頁読破記 入賞者決まる

一般教育科 国語 坂本 具償



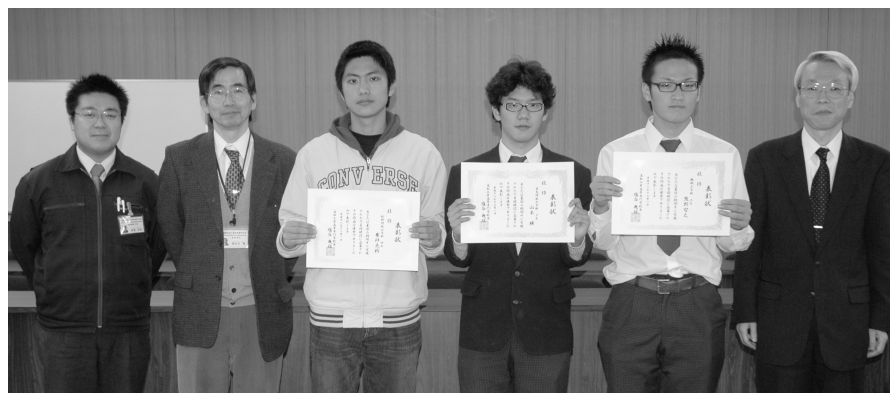
前号で、この「読破記」案内文を書きましたが、入賞者3名（いずれも佳作）が決まりました。今年度の読破記の応募総数は216編で、例年とほぼ同数でした。では入賞作品について簡単にコメントしておきましょう。

山本瑛君が選んだ本は、「ハリー・ポッター」第1巻から第6巻。ひと頃の話題性はなくなりましたが、いまだに根強い人気があるようです。ただ山本君は、主人公のハリーによりも、ハーマイオニーに着目しています。第1巻から第6巻までを通して読むと、彼女の性格が変化していることに気づくというのです。規則第一で嫌味な感じの彼女から、他人の心を理解し思いやる彼女への変化。それは差別という辛い経験をしたからではないかと山本君は分析しています。そしてハーマイオニーのその変化を山本君は自分の問題として捉え直しています。「自分も6年前と変わっているだろうか」と。そこがよいと思います。

熊野智之君が選んだ本も「ハリー・ポッター」

で第6巻「ハリー・ポッターと謎のプリンス」です。熊野君はダンブルドアを亡くしたハリーの悲しみと、友人を事故で亡くした自分の悲しみを重ねています。「死」とは何か。ダンブルドアが言うように「大なる冒険」なのか。第6巻全体の醸し出す暗さ、しかしそれ故にハリーを中心とする人と人との「愛」という光の部分が浮き立つと熊野君は分析します。鋭い読みだと思います。「謎のプリンス」の残す謎は、果たして解決されるのか。第7巻は出るのか出ないのか。

薬師亮祐君の場合は先の二人と少し趣が違います。まず「五千ページを読破する」と決めるところから出発しています。「五千ページ」というとそれなりの分量です。本の選択を誤ると大変です。しかし、薬師君は上手に選んだようです。先ず岩波文庫の『西遊記』全10巻。三蔵法師がなかなか登場しないことや、随所に漢詩が出てくることなど、テレビドラマとは少し違う点を探すのも楽しいようです。次に選んだのが映画化された『ダ・ヴィンチ・コード』。映画と小説とではテンポが違って、小説には小説の面白さがあるようです。その他『天使と悪魔』を含めて6446頁読破となりました。このことにコメントはいらないでしょう。脱帽です。（さかもと・ともつぐ）



1000ページ読破記 佳作作品

1000ページ読破記

3年E組 山本 瑛

18にもなって、ハリー・ポッターはどうかと思うかもしれない。しかし、第1作の『賢者の石』が発売されてからもう7年以上経っている。発売当初小学6年生だった子供も高校を卒業しようかという年月である。それに伴い、ハリーも16歳へと成長している。児童文学とはいえ、登場人物の心情を一番理解できるのは今頃の年齢ではないだろうか。

と言ってみたものの、自分は全体を通して主人公であるハリーに余り感情移入が出来なかった。もちろん物語としてはそれなりに面白かったのだが、いまいち共鳴できないのである。

初めてこの本を読んだのが中学2年の秋だった。その当時自分は軽い鬱状態に入っていた。週一くらいで学校を休み、家で本を読んでいたりしていた。その時に登場人物の一人である、ハーマイオニー・グレンジャーに出会った。

彼女を一言で表すなら秀才または、優等生。勉強が出来、規則を守り…、口うるさく注意をする。周りからしてみれば、煙たがられる存在である。当時の自分もそんな感じだった。

彼女が優等生である理由それは、出自によるものだった。マグル（魔法が使えない人間のこと）出身の彼女は魔法学校に入るに従い猛勉強をした。それは、授業についていく為であり、馬鹿にされないよ

うにするためであったと思う。マグル生まれということによって差別を受けることもあった彼女は努力により、学年一の称号を勝ち取ったのである。他人に何を言われようが気にせず目標に向かう姿勢に共感したし、励まされたような気がした。

こんな話を当時の担任とした覚えがある。勉強だけ出来るやつと思われとるみたいな気がして尋ねてみたら、そんなことないとハッキリ言ってくれた。何でそんな話をしたかということ、ハーマイオニーに影響を受けていたからである。

今、1巻から6巻まで読み返してみると、彼女の性格が変化してきている事に気が付く。最近では、他人の心を理解し、思いやっている行動が目立つ。規則第一であり嫌味気な最初のころとは大きく違っている。また周りからは理解されていないが、被差別種族である、屋敷しもべ妖精の権利保護を訴える活動を行っている。これは彼女自身の差別を受けた経験から来るものではないだろうか。

自分も6年前と変わっているだろうか。他人を思いやれているだろうか。自分のされた辛い経験を他人に行う事がないだろうか。よく考えて見なければいけないと改めて思った。

J・K・ローリング
ハリー・ポッターシリーズ
3,816P

(やまもと・はじめ)

1000ページ読破記

3年M組 熊野 智之

僕は、この夏にハリー・ポッターの第6巻「ハリー・ポッターと謎のプリンス」を読みました。自分の悲しみがハリーの悲しみに重なり、失われた偉大な人物の姿が自分の友達の姿に重なった。

「ついにダンブルドアに間かずじまいになってしまったことが、あまりにも多い…」ハリーのこの嘆きは、自分の友達に対する嘆きのように思えた。僕の友達は、高校1年の時に交通事故で亡くなった。あまりにも急なことだった。今でも、彼が死んだことが信じられない。彼の最後が、第1巻「賢者の石」のダンブルドアの言葉を思い出させた。

「死とは長い一日の終わりに眠りにつくようなものだ。結局、きちんと整理された心を持つ者にとっては、死は大いなる冒険に過ぎないのじゃ。」

J・K・ローリングは、物語がだんだんと暗くなると宣言していたが、第6巻はまさに暗いと思った。しかし、影があれば光が浮き立つ。「選ばれし者」の予言を受けて立つハリーを、2人の親友ががっちり支え、ジニーがその輪に加わった。人生が変わるほどの災難にあったビルを、フラーがしっかり受け止めた。そしてトンクスの新しい幸せ。単純な「愛」がいかに強いものであるかを、ダンブルドアはハリーに理解させようとした。現実の世界の苦しみや悲しみを反映した物語には奥行きがあり、読み手を共

感させる。

ハリー・ポッターの物語は、辛く苦しいときほど力を与えてくれる。第4巻「炎のゴブレット」の最後に、ハリーが3校対抗試合の優勝賞金、1000ガリオンを、ジョージとフレッドに惜しげもなく譲る場合があるが、そのときハリーはこう言った。

「僕、ほしくないし、いらないんだ。でも僕、少し笑わせてほしい。僕たち全員、笑いが必要なんだ。僕の感じでは、まもなく僕たち、これまでよりもっと笑いが必要になる。」

暗い場面の多い第6巻だが、あちこちに笑いがあった。ハリーの願いどおり、ジョージとフレッドの店は、大胆な着想でヴォルデモートを笑い飛ばした。

ハリー・ポッターの第7巻はいつ発表されるのか、現時点ではわかっていない。第7巻で何が起るのか「謎のプリンス」が残す謎はあまりにも多いと思います。ハリーは本当に独りで旅立つのだろうか？ハリーは生き残れるのか？スネイプは果たしてどちらの味方なのか？R・A・Bとは誰なのか。第7巻で死ぬのは誰か？ダンブルドアは本当に死んだのか？これらの謎を解くためにも、早く第7巻を読みたいです。

J・K・ローリング
ハリー・ポッターと謎のプリンス
1,002P

(くまの・ともゆき)

1000ページ読破記 佳作作品

5000ページ読破記

4年S組 薬師 亮祐

今回僕は今までと違って目標を決めて読破をしようと思った。それはタイトルにもなっており、5000ページを読破することである！過去3回の夏休みではだらけてしまって1000ページに甘んじていた。が、しかし今回は「これではいかん！」と自分を奮い立たせ5000ページを読破することに決めたのだ。

さて、ここで問題なのは何を読むかだ。家に居ても仕方がないので坂出の図書館に探しに行くことにした。色々見て回っていた時、ふと目に飛び込んできたのが西遊記である。。

西遊記といえば今年の冬から春にかけてドラマ化され話題になり、僕も楽しく見ていたのである。そして以前から興味を持っており読みたいと思っていたので、これは丁度いいということで西遊記に決定した。ウエイトも1～10巻とたっぷりあって、5000ページ読破記の材料としては申し分ない。

早速借りて（家は暑いので）図書館の読書スペースで読むことにした。

物語は、悟空が花華山の石の卵から生まれるところから始まる。その後悟空は故郷を離れ、仙人の下で修行を積み72の変化の術や筋斗雲の術を会得する。喜びいさんで故郷へ帰るが、そこは混世魔王に支配されてしまっている。当然怒り狂った悟空は混世魔王を倒す。自分も何か武器が欲しいと思った悟空は、龍王のところで如意棒を手に入れる。そして齊天大聖を名乗り、天界で大暴れし、お釈迦様に岩山の下へ封じ込められる…。

1巻を読み終えて驚いたのは、まだ旅に出発しないどころか、三蔵法師が登場しないということである。猪八戒と沙悟浄、白龍（三蔵が乗る馬）は観音菩薩が取経者（三蔵）のお供を探すシーンで登場したのだが、三蔵だけは出てこないのである。

もう一つ驚いたことは、随所に詩が挿入されて

いることである。授業で習った山月記にも詩が出てきたが、それよりはるかに多い頻度で登場していた。なかなかこのような文章は読むことがないので非常に興味深かった。

また、面白かったのは、ドラマに登場した混世魔王は物凄い強敵だったのに、本に出てきた混世魔王は数ページで倒されてしまったことである。しかも一般的に河童であるとされる沙悟浄が正体不明の妖怪だったことだ。今後もドラマと小説の相違点を探すのが楽しみだ。

さて2巻目の第2話でやっと三蔵法師が登場した。その後は同じようなパターンが続いていたので、最終巻までさらっと読み終えてしまった。

さて、西遊記を読破したところで目標である5000ページにはまだ400ページほど足りない。

そこで、次なる材料はというと、今年映画化され話題を呼んだ、ダ・ヴィンチ・コードである。これは映画化されるより前に、一度読んだことがあるのだが、よい機会なので、もう一度読むことにした。

さて、読み始めるとやはり映画より小説のほうがおもしろいことに気付かされる。映画は最初から展開が速いのに対し、小説は徐々にヒートアップしていくのだ。

これは一度読んだことがあっただけに、すぐに読み終わってしまった。

次に読むのは同じくダン・ブラウン著の天使と悪魔である。非常におもしろく、徹夜で読み終えてしまった。

さて、総読破ページ数は6446ページと目標を大幅に上まわったので満足だ。来年も頑張りたい。

中野美代子訳 西遊記 4,607P

ダン・ブラウン ダ・ヴィンチ・コード 858P

ダン・ブラウン 天使と悪魔 981P

計6,446P

(やくし・りょうすけ)

読書感想文 佳作作品

東京タワー オカンとボクと、時々、オトン

2年E組 野崎真土香

ある書店のTOP1がこの「東京タワー オカンとボクと、時々、オトン」だったので、暇潰しに何気なく買った。しかし、買って良かったというか買わなかったら人生を損していたような気が

する。

素晴らしい読後感。前半のおかしさが後半の悲しさを強める。後半は、涙で字が見えなくて『何！この涙！邪魔っ！』って思いながら読んだ。次のページをめくるとオカンが死んでしまうような気がして怖くてめくれない。でも読みたい。リリーさんの圧倒的な文章力、内容、ジョークなど独特の語り口に驚かされ、感動した。時代を俯瞰する

する目というか、彼の洞察力は凄いと思う。

評論家の中には文学で無いとか言う人もいるみたいだが、そんな事は関係ない名作だと思うので、たくさんの人に読んで欲しい。

東京という日本の孤独な最先端の町と、温もりのある遅れた九州の故郷の舞台がそれぞれの意味を持つ。自分の事よりも他人の事。楽しい事が大好きで皆から愛されたオカン。抗がん剤の作用で激痛に襲われ、苦しみながらも生きようとしていた姿があまりにも衝撃的で号泣した。息子に何かを伝えようと最期の力を振り絞った場面、まだ体温があるのに死んだと言われ、信じられない息子の気持ち。オカンの人生は辛い事もあったけど、最期を最愛の家族に看取られ、リリーさんが息子でとても幸せだったと思う。人は亡くなった時にその人の価値がわかると思うけど、オカンは本当に素敵な女性であり母親だと思う。出来ればもっと長生きして沢山の人に囲まれ、リリーさんと更楽しい生活を続けて欲しかった。子が母を、母が子を想う気持ち。読み手側に一步踏み込んでくる物語なので、感想文を書くに至って客観的な立場で論ずるのは難しいと思った。

私の記憶も、時々オトンだから、書いてある言葉が、自分に重ねられてしまっていて、至る所で泣いてしまった。私が小学生の頃、生まれて初めて

「死」というものがこの世界に存在すると知った。途轍もない衝撃だった。

父という大切な人を亡くした痛みは8年経っても消えることがなく、付き纏っている。どうしても乗り越えることのできない痛み。私は父のことを誰かに話すことができない。話そうとすると、涙が止まらなくなるから。その時、一番恐れた事は、やはり、母の死がいつか必ず訪れるという事。多分、私より先に。そう思うと自分が死ぬ事の何万倍も怖かった。その気持ちは今も変わらず、わたしの胸にあり続けている。

しかし私は、結構な親不孝者で、母の事は大切に思うけど、なかなか素直に接する事ができない。違う価値観からでてくる母の発言に苛々したり、ウザイという感情をあらわにしたりと、申し訳ない。

(のぎき・まどか)

図書館委員会から

古本市の報告

3年S組 杉浦 孝典

10月某日、某所に集まった図書委員達を前に長谷川先生はこうおっしゃった。

「皆楽祭で図書館では古本市を行います。それにより得られた売上金は図書館をより良くするために使われます。」

正直、「より良く」ってすごく曖昧だと思った。「美しい国」と同じくらい。

実際のところ、去年は図書館をより良くするために植木(1000円程度)を1つ購入して図書館に設置したそう。

そして当日。店番をしようとして店舗スペースに行ってみて驚いた。意外に売り物の本が多かったのだ。例えるならば、東京ドーム3個分(に余裕で収容できる量)の本があった。

さらに意外と店舗に足を運ぶ人が多かったのだ。皆さん真剣に本の品定めをしたり、スタンプラリー

のスタンプを台紙に押して、そそくさとその場を後にしたりしていた。

結果的に2日間で合計109冊を販売し、4000円強の売り上げを得ることができた、これを元手に図書館をより良くするための活動を行いたいと思う。何か図書館をより良くするために気づいたことがあれば、遠慮なく長谷川先生に申し立てて欲しい。

最後まで読んでくださった皆さん、ありがとうございました。

(すぎうら・こうすけ)

2人の女性



一般教育科 英語 出渕 幹郎

同じ時代を息せき切って生き急ぎ、精神と肉体の限界を越え、疲弊しきって死んで行った2人の女性児童作家がいます。1950年代に埼玉県の「こだま」という児童文学サークルの同人誌に、時を同じくして作品を発表していた、柴田道子と乙骨淑子です。2人は、市井の偉人発掘の天才である鶴見俊輔に見い出され、それぞれが異なったやり方で、これしかないというぎりぎりの生を生き、一人は叫ぶような突然の死を死に、もう一人は死の床まで思想を成熟させ不可避の死を死にました。

柴田道子の著作で現在も版を重ねている本は、三一書房から出ている「被差別部落の伝承と生活 一信州の部落・古老聞き書き」しかありません。この本は、夫である横田雄一氏（狭山事件の弁護団の1人でした）が長野県に転勤して彼の地に移り住んだ時に、その土地の被差別部落を歩き回って、地道な長時間の聞き書きをまとめたもので、部落解放運動や解放理論が大きく発展をとげた1970年、80年代には、その分野の基本文献とみなされていた本ですが、今はもう時代の片隅に埋もれてしまった本と言っても言い過ぎではないでしょう。柴田道子は、もう一冊だけ社会的に高い評価を受けた本を残しています。それは「谷間の底から」という、もともとは児童文学同人誌「こだま」に発表した作品で、何度か出版社を変えた後、1975年の彼女の死の直後に岩波少年文庫として定本が出、今は絶版となっている本です。自分の戦中の疎開体験をもとに書かれた大変にリアルで優れた心理小説なのですが、その本が初めて1959年に出版された時、それを讀んだ奈良県のある女子中学生が感想を手紙にして柴田道子に送ります。この物語を書いた作者なら、先生や級友の差別意識のため、盗みの濡れ衣を着せられた自分のくやしさをわかってもらえるだろうと思ったのです。この少女の直感はずちがっていませんでした。東京に生まれ育った柴田道子は、それまで被差別部落のことを全く知らなかったのですが、その少女からの手紙がそれから彼女の一生に渡る被差別部落との関わりの始まりでした。部落問題と関わってからの彼女の生活は著述から運動へと大きく傾斜し、運動の有効性だけに考えを絞って中核派のシンパ活動までしました。そして持病の重い喘息をかかえながら、当時の部落解放運動の最大の課題であった狭山裁判闘争（埼玉県狭山市でおきた女子高生誘拐殺人事件の犯人とされる男性が冤罪を主張しての裁判闘争）にすべてを投げ打って進みます。その高裁判決で敗れた後は、狭山市に移り住み、病身をむち打ちながら、現地での犯行現場調査を続けます。1975年の8月10日は暑い日だったそうですが、その日、柴田道子は、自白の信憑性を確認するため、犯人が死体を隠したということになっている、芋穴と呼ばれる、その土地ではよく見られる、深さ数メートルもある穴に、死体の代わり

に逆さ吊りされる役割を買って出ます。しかし疲れきって帰宅したその夜、彼女は猛烈な喘息の発作を起こし、午前2時45分に救急車の中で絶命します。

柴田道子が行動の人だったとすれば、乙骨淑子は時間をかけて、肉体とともに自分の思想を成熟させ、それを作品の形でだんだんに残して行く人でした。同人誌「こだま」に発表された、大儀のない日中戦争から戦線離脱する日本軍少年兵の物語「ぴいちゃあしゅん」、不安定な思春期の少女の内面と生活を描いた「十三歳の夏」、不戦の通信兵であった父親をモデルにした「合言葉は手ぶくろの片っぱ」、未完の大作である「ピラミッド帽子よ、さようなら」など多くの作品があり、幸いにもそのほとんどすべては理論社の「乙骨淑子の本」という作品集に収録され、今も読むことができます。先に私は「肉体とともに自分の思想を成熟させ」たと書きましたが、それはどういうことかと言いますと、彼女は1967年、38才の時に乳癌を発病し、亡くなるまで、骨に転移した癌の再発再手術の繰り返しで、10年余りものあいだ自分の滅んでいく肉体を見つめながら思想を成熟させ、作品に残していったということです。「ゲド戦記」の翻訳で知られる清水真砂子氏は、物理学者である夫とともに80年4月下旬に初対面の乙骨淑子を病院に訪ねますが、「生きていていいわね。こんなにうれしいことにあえるんだもの」との歓待を受け、楽しく貴重な時間を共有したあとのことをこう書いています。「もっとそばにいたい思いをむりやり断ちきり、別れを告げて病院の玄関までおりたとき、つれあいがとつぜん、どうしてもききたいことがある、もう一度乙骨さんに会いたい、といだした。今、会わなければ、後でしまったと思えそうだ、という。私たちはエレベーターで、また乙骨の病室にもどった。乙骨はにこやかに再度私たちを迎えてくれた。『時代の先を曳く思想とはどういうものだとおもわれますか』とつれあいはたずねた。『それがわかればわたしの病気もよくなるのに』と乙骨は答えた。それから3ヶ月と少しが過ぎた1980年8月13日に彼女は亡くなるのですが、まさに死の床で、肉体を解放しない思想は無意味だと言い切り、それを作品に残そうとしたのが乙骨淑子で、作品に残された彼女の言葉からは、女性らしい優しさと考え抜いた思想の強さが、等しく伝わってきます。（この原稿は2004年に相談室便りに掲載されたものを転載しました）

※「谷間の底から」柴田道子 岩波書店
 「被差別部落の伝承と生活」柴田道子 三一書房
 「ぴいちゃあしゅん」乙骨淑子 理論社
 「十三歳の夏」乙骨淑子 理論社
 「合言葉は手ぶくろの片っぱ」乙骨淑子 理論社
 「ピラミッド帽子よ、さようなら」乙骨淑子 理論社
 「戦争が遺したもの」
 鶴見俊輔、上野千鶴子、小熊英二 新曜社
 「民主と愛国」小熊英二 新曜社
 「狭山事件」鎌田慧 草思社

(いでぶち・みきろう)

「謎」と「鍵」

電気情報工学科 本田 道隆

あなたはなぜ生まれてきたのか？という問いに対する答を真面目に考えたことがあるだろうか。私は学生時代からいろいろと考え、現時点では「面白いことをするためのだ」という自分なりの答に行き着いている。ゲームや趣味などは面白い。しかし、そんなもの以上に次元が違うもっと面白いことが世の中にはあるわけで、それをやるまでは死んでも死に切れないということである。

ところで、多くの面白いものに共通しているキーワードが「謎」である。謎とはまだ明らかになっていないことを意味するが、これを解いて少しでも明らかにすることが面白いわけである。ゲームでも簡単にゴールに到達できるものは面白くない。どうやったらゴールに行けるかという謎に対する答を発見することに面白さがある。工学の世界でも全く同じで、みんなの役に立つものを生み出すにはどうすればいいか？という謎を科学的に解くことに面白さがある。この世界で楽しく仕事をしている人々はこの謎解きが魅力的だと感じている。芸術の世界でも、ポリニーというピアニストは、「芸術作品というのは弾けば弾くほど謎が現れる。解いたと思ってもまた新しい謎が現れる。これを解き続けたいのでピアノを弾いている」と言っている。

これらの謎を解くにはその「鍵」を得る必要がある。この有力な入手方法のひとつが本を読むことであり、他の人が持っている鍵を入手できる可能性を与えてくれる。学生の皆さんが多少の抵抗を感じながら手にする教科書や文献もこの意味ではゲーム攻略本と同じであるから、講義開始時に「今日は計算機工学攻略本の10ページから説明する」と言えば少しは工学に対する親しみが増すかもしれない。ただし、この鍵を入手したところで、その使い方を考えたり試したりしないとうまく使いこなせず、苦勞も多い。そして、うまいこと謎を解き明かしたときの瞬間は、苦勞した分に相当した面白さが味わえる。一般に、「不幸の後の喜びはその不幸の大きさに比例して倍加する」と言われるが、謎を解明した後の気分もまさにそうであり、学生さんには是非多く味わってほしい。

私はまだ宗教の世界になかなか目が向かないが、それでも聖書などの経典のもつ意味を考えたことがある。実際に聖書の一部を読んでみると、「～をなさい」という記述よりは「人間に関する謎と一部の鍵を与えるからあなただけの答を見つけなさい」とでもいうような記述を多く感じる。人間のもつ謎はその量も種類もおそらくこの世で最大クラスのものだろうが、この最大の「謎」を解こうとする過程で様々な「鍵」にめぐり合い、面白さを味わうことがその人の人生を豊かにすることを経典は教えているのかもしれない。

(ほんだ・みちたか)

何が大事か日本人

大塚日正 (講談社)

この本は寂しいと思った時、怒りを抑えられなくなった時、得意になった己に気付いた時、心に迷いを生じた時、開いて欲しいと思います。

活字で書かれた書は、書き直すことが出来ない一度きりの書物なのです。

4年C組 田中 康広

クリスティーン

スティーヴン・キング(新潮文庫)

いじめられっ子の「負け犬」アーニーは、ある時クリスティーンに一目惚れした。彼女は58年型プリマス・フェーリー。だが彼女は死霊の憑依した車だった。彼女の虜になったアーニーは徐々に別人へと変貌していく。やがてクリスティーンの周辺では次々に冷酷な事件が起き始める。

4年M組 山本 佑季

アイデア・ドローイング……創造のために……

中村純生・千徳英一 (共立出版)

「自分のアイデアでモノを作る」すばらしいことですね。でも、一人で行うことには限りがあります。エンジニアにはアイデアを図に描き人に伝えるテクニックが必要です。立体構造をどう書き表すのか、見えない部分をいかに表現するのか、工学の世界のお絵かきの話です。

制御情報工学科教員 平岡 延章

φは壊れたね

森 博嗣 (講談社)

犯人の異常思考によって行われた密室殺人事件。現場は過剰に装飾され、被害者は宙に吊るされていた。『φは壊れたね』という題のビデオが事件の謎を深めていく。しかし、そのビデオには事件解決へと導く証拠が隠されていた。

2年M組 双田 慎二

新

着

図

書

事実／価値二分法の崩壊

ヒラリー・パトナム (法政大学出版局)

事実の確認は客観的でありうるが価値判断は主観的である、という現代を支えた二分法の信念を、緻密な議論によって批判する。この多様性の時代に、客観的価値は存在しうるのか。「面白さ」より「正しさ」を追求する哲学者の真摯な態度。出版直前に他界した中村氏の、禁欲的でありながら、惚れ惚れするような翻訳。

一般教育科教員 字野 光範

日本 町の風景学

内藤 昌 (草思社)

本書は「風景学」に使われる自然・風土・景観・環境などの言葉の概念を、中国文化圏から発生した言語の歴史的な経過を含め、多くの参考文献による解説は、大学教育で受講している内容である。また、日本の町づくりの伝統の解析より、あらたな町へと修景するために提言された本。

建設環境工学科教員 松原 三郎

**父親の力母親の力
—「イエ」を出て「家」に帰る—**

河合隼雄 講談社+α新書 (講談社)

「突撃！」の号令で真っ先に突撃して死ぬのが父性ではない。なぜ突撃しなければならないか問いたがすがほんとうの父性である。「父性」と「母性」の違いは何か? 「孤立」と「自立」は同じようなものなのか? などなど、わかりやすく解説する。できれば著者の30年前の名著『母性社会日本の病理』(講談社+α文庫)も読んでほしい。

一般教育科教員 長谷川 隆

**「実践 土木のアセットマネジメント(社会資産管理)」
「やりくり」で防ぐ社会資本の荒廃**

阿部 允 (日経BP社)

日本の「建設」は、戦後よりたゆまぬ社会資本投資であった。しかし、集中的に蓄積してきた公共の構造物が、そのまま放置すると、経年とともに劣化して荒廃が進んで、近い将来それが顕在化させないために「やりくりの維持管理」で長持ちさせるべき環境保全の現状と課題の報告書。

建設環境工学科教員 松原 三郎

鴨川ホルモー

万城目 学 (産業編集センター)

おもしろい! 京都を舞台にした青春娯楽小説。「ホルモー」とは、簡単に言えばオニを使った競技のこと。京都の4つの大学サークルが対戦します。「ホルモー」ってナニ? と興味を持った人は読んでみてください。京都の地理に詳しい人には特におすすめ。第4回ポイルドエッグズ新人賞受賞作。

機械工学科教員 小島 隆史

春期限定いちごタルト事件

米澤穂信 (東京創元社)

「掴んだ、あの小市民の星を」
小市民を目指す小鳩君と小佐内さん。しかし、彼らの前には幾度となくミステリが舞い込んで…!? 彼らは「小市民」になれるのか。
読後感の爽やかな、気持ちいい青春ストーリーです。こんなのが読みたかった。是非一読あれ。

2年E組 矢野 正人

法則の辞典

山崎 昶 (朝倉書店)

これは「〇〇の法則」で説明できる。良く使う表現であるが、その法則を知らない人には何の説明にもならない。こんなとき役立つ辞典である。ちょっとだけ分かった気にしてくれる本である。ページをばっと開いて、未知の法則を眺めて見るのもまた一興かもしれない…。

制御情報工学科教員 平岡 延章

ナイチンゲールの沈黙

海堂 尊 (宝島社)

現役のお医者さんが書いているだけあって、非常にリアリティのある医療現場を舞台とした本格ミステリーの第2作です。ちなみに、第1作「チーム・バチスタの栄光」は「このミステリーがすごい」大賞を受賞したベストセラーです。どちらも読みごたえ満点です。

機械工学科教員 吉永慎一

バカなおとなにならない脳

養老 孟司 (理論社)

この本は理論社のHP上「人間科学なんでも質問箱」に寄せられた質問に対する、養老孟司さんの回答を纏めたものです。中学・高校生を中心とした様々な年代からの様々な疑問に対し、彼ならではの視点で答えており、「なるほど」とか「そうかな?」などと考えさせられる一冊です。

5年M組 島村 豪敏

すべてがEになる

森 博嗣 (講談社)

度肝を抜かれる死体登場シーンと、それにも増してショッキングな真相。シャープで破壊力抜群のこんな本格ミステリを多くの読者が待っていたことだろう。

3年E組 秋山 拓也

2007年版 業界地図

一橋総合研究所 (高橋書店)

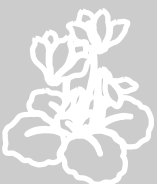
たとえば、日本の会社でPCを作っている企業は、どこどこなの? 自動車会社はどこがBIGで、どんな協力関係にあるのかな? 私が就職しようとしている業界の勢力図は? ……。こんな問いに答えてくれる本です。この本が出た後、資本関係が大きく変わろうとしている業界がありますよ。

制御情報工学科教員 平岡 延章



から

図書館に新しく入れた本



■新着CD

タイトル	アーティスト
ヴェーリャ・ガルド・ダ・マンガイラ	ヴェーリャ・ガルド・ダ・マンガイラ
アイ・ツ・ザ・テレスコープ	ケイティー・タンストール
イン・ユア・オナー	フー・ファイターズ
ゴーリング!!	ゴルベティー
無線衝突	ザ・テッド60s
イン・マイ・マインド	ファレル・ウィリアムス
交響曲全集・第1番、第2番「勇者」&第3番	ボロディン
Night Hike	HARCO
ラウド&ファスト:ザ・ベスト・オブ	ラモーンズ
X&Y	コールドプレイ
A Peacetime MCU	MCU
since77	FUNKY DL
ハーツ・オン・パレード	アメリカン・ハイファイ
シングルス	ピチカート・ファイヴ
サラマダー	ELLEGARDEN
ザンサイアン	Cocco

タイトル	アーティスト
Home	アンジェラ・アキ
東京のアルトル・ピアソラ ライブ1984	アルトル・ピアソラ
リング・オブ・ファイア〜ザ・レジェンド・オブ・ジョニー・キャッシュ	ジョニー・キャッシュ
リヴェンジ・オブ・ザ・キング	クーラ・シェイカー
ジ・イレイザー	トム・ヨーク
cure jazz	ua X菊池成孔
パーセル最後の曲集	高橋 悠治
クセナキス&メシアン:ピアノ作品集	高橋 悠治
ライブ・アット・ハマー・スミス・オデオン'75	ブルース・スプリングスティアン&エストリート・バンド
Gラヴ	レモネード
アヴァンチュール:2台のピアノのための3つの小品 他	ジェルジ・リゲティ
ザ・ウォール	ピンク・フロイド
米	米米CLUB
13/71	尾崎 豊
GREATEST HITS	QUEEN
ナルキッソス	サディスティック・ミカ・バンド

■新着DVD

タイトル
エンジェルス・イン・アメリカ
ハリー・ポッターと炎のゴブレット
Mr.&Mrs.スミス
サイドウェイ
イン・ハー・シューズ
グッド・ウィル・ハンティング
ウオーク・ザ・ライン
クラッシュ
シリアナ
ナルニア国物語
シン・シティ
ロード・オブ・ウォー
スタンド・バイ・ミー
ジャーヘッド
ヴェニス商人
プライベート・ライアン
ホテル ルワンダ
ミュンヘン
V フォー・ヴェンデッタ
南極物語
ブロークバック・マウンティン
ニュー・シネマ・パラダイス
シンデレラマン
インサイド・マン
ヤアヤア・シスターズの聖なる秘密
ジョー・ブラックをよるしく
シンドラーのリスト
ダ・ヴィンチ・コード

図書館からのお知らせ

◆年末年始の開館時間等について

年末年始の開館時間等は、下記のとおりですの
 でよろしくお願いたします。

12月25日～12月26日	終日閉館
12月27日～12月28日	9:00～17:00
12月29日～1月3日	終日閉館
1月4日～1月5日	9:00～17:00
1月6日～1月8日	終日閉館
1月9日～平常通り	9:00～20:00

◆冬季休業中の長期貸出について

恒例の冬季休業中の長期貸出（学生のみ対象）
 を下記のとおり行います。

貸出開始日：12月18日(月)
返却期日：1月10日(水)
貸出冊数：20冊まで貸出OK

時間的に余裕のある休業中に、読書三昧という
 のはいかがですか！！

編集後記

以前、新居浜高専と詫間電波高専の図書館の先生から、毎年高松まで、学生を連れてブックハンティングに来ています、という話を聞いたことがあります。高松には他がうらやむ大きな本屋があるのだということを実感しました。そしてさらにこの12月、高松に30万冊規模の紀伊国屋書店がオープンしました。地の利を生かし、毎年6月と12月におこなっている、ブックハンティングに参加しましょう。

(図書館長)